



多機能タイプの環境配慮形水性つや消し塗料
内装・外装の各部位に塗装可能です

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

ホルムアルデヒド
放 散 等 級

F☆☆☆☆

■特長

①環境配慮形

水系、非危険物、1液形なので、臭気が少なく、
ポットライフがない取り扱いやすい商品です
また低VOC塗料(TVOC1%以下)ですので、
室内環境に配慮した水性塗料です

③やに止め性／付着性／耐水性

1液水性反応硬化形なので、密着性にすぐれています
また、※やに止め性、付着性、耐水性などにすぐれています
※やに止めについては裏面の「やに止めレベルの目安」をご参照ください。

②優れた仕上がり

落ち着きのあるつや消し仕上げで隠ぺい性に優れ、
外部性能と内部の仕上がりの両面を兼ね備えた高級品です

④防藻・防かび性

藻やかびの発生を抑える効果があり、美観維持に役立ちます
強力防かびタイプ、抗菌タイプもオプション付与が可能です

■用途

戸建住宅・マンション・商業施設など、臭気配慮が必要な内・外壁面の新設・改修塗装

※ JIS K 5663 1種(主として屋外用)の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。

■適用下地

新設適用下地：モルタル、コンクリート、石膏ボード、ブロック、木部、かき落しモルタル、塩ビクロス面

②繊維壁、耐火被覆用ケイカル板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には使用できません

改修適用下地：上記各種素材面

※素材によってはシーラーが必要になります。施工上の要点と注意事項を参照してください。

■標準塗装仕様

●改修塗装仕様(内・外部面)

・やにの付着が認められる場合は、裏面の「やに止めレベルの目安」をご参照ください。

工程	塗 料 名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釀剤	希釀率(%)	塗装方法
下地調整	浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。 粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。						
上塗	ニッペ 水性ケンエース	2	平滑面(0.12~0.14) リシン面・軒天(0.16~0.20)	2時間以上	水道水	2~8%	ウールローラー・はけ エアレススプレー

●新設塗装仕様(内・外部面)

工程	塗 料 名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釀剤	希釀率(%)	塗装方法
下地調整	エフロレッセンス、レイタスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。 吸い込みの著しい下地やセメント系素地などの場合は、シーラーが必要となります。その場合は上塗りの前に使用してください。						
上塗	ニッペ 水性ケンエース	2	0.12~0.14	2時間以上	水道水	2~8%	ウールローラー・はけ エアレススプレー

注1)上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じことがあります。

塗料の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。特に旧塗膜がリシン面などの粗面の場合、
塗付が大幅に増えますので試験塗装などして確かめてください)

注2)かび発生面に塗装する場合は、必ず次の処理を行って塗装してください。

- ①5%次亜塩素酸ソーダ水で殺菌処理してください。
- ②処理剤塗付後は必ず水洗いをし、十分に乾燥させてください。

注3)塗料を厚く付けすぎると、割れが発生する場合があります。必ず使用量をおまもりください。

注4)弹性塗膜の塗り替えには使用しないでください。

注5)カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業所までご相談いただきますようお願いいたします。

ニッペ 水性ケンエース®

塗装基準

塗装方法	はけ・ウールローラー・エアレスプレー塗り
希釈率	2~8%
使用量	0.12~0.14kg/m ² /回
1缶あたりの塗装面積	57~67m ² /2回/16kg 14~16m ² /2回/4kg

・塗付け量は、0.10kg/m²/回です。

・使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の使用質量

・塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の付着質量

塗り重ね乾燥時間

	5~10°C	23°C	30°C
塗り重ね乾燥	5時間以上	2時間以上	1時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

容量・荷姿

塗料名	系統	容量	色相	つや
ニッペ 水性ケンエース	水性反応硬化形 エマルジョン塗料	16kg 4kg	各色 (原色あり)	つや消し

塗膜性能

試験項目	規格	水性ケンエース 試験結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格
塗装作業性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があつてはならない	合格
低温安定性(-5°C)	変質してはならない	合格
表面乾燥性	標準状態(23°C)、2時間以下 低温状態(5°C)、4時間以下	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
懐べき率%(白および淡彩)	93以上	合格
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする	合格
促進耐候性	白亜化的等級(1以下)で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくなるものとする	合格
屋外暴露 耐候性	12か月間の試験で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくなるものとする	合格

水性ケンエースグロスとの混合によるつや調整例

	7分つや有り	5分つや有り	3分つや有り
水性ケンエースグロス:水性ケンエース(重量比)	90:10	80:20	60:40

やに止めレベルの目安

水性塗料のため、あらゆる条件でやにが止められる訳ではありません。以下の色相を目安に注意して施工してください。

(25~90D)
日本塗料工業会 色相見本

ニッペ水性ケンエースで止まるやには左の色相が目安です。ただし、施工条件(温度、下地の状態)などにより止まらない場合がありますので予めご了承願います。左の色相見本より著しいやにが付着している場合は、水性シミ止めシーラーⅡを塗装するか、しっかり洗浄をしてやにを除去してから施工してください。

施工上の要点と注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合には、塗装を避けるか、やむを得ず塗装する場合は、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窓叢サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弹性リシン、弾性スタコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥離していることがあります。そのまま塗装すると剥離がさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また、「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重要なことで、建材の変形、塗膜の剥離、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などに相談ください。
- 塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でない結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 防藻・防カビ：抗藻効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、剥離、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、たどき水洗いでください。作業率の低くおよびむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがあります、時間とともにになります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーサイナーで洗浄してください。
- 動物のはけは、はげが固まつたりダメになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- JIS K 5663 1種(主として屋外用)の試験に合格する性能を有していますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。
- 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- 本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗り2回塗りでは仕上がり感が異なります。
- 汚染除去性は、乾燥条件、使用量、塗り回数などにより若干差がでる場合があります。
- つやや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。
- 繊維壁、耐火被覆用い酸カルシウム板、ロックウールなどの非常にせい弱な素材には塗装できません。
- 吸音板塗り替え用顔料分塗材(シールマットIIなど)の塗り替えには使用できません。
- 水点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5°C以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペファンペインティングシーラー、ニッペファンペインティングシーラーをご使用ください。なお、使用量は濡れ感が出るまでを目標とし、素地への吸い込み個所がある場合はその部分を増し塗りしてください。
- やに著しく付着している場合は、エヌなどで水拭きして除去し被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23°C、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、エヌなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。
- 下地にタバコのやに汚れがある場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーⅡを塗装してください。
- タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜の養生を行ってください。
- 塩化ビニルクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合せをするなどあらかじめ補修してください。またクロスの接着力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってくることがありますので、クロスの合わせ部などはあらかじめ接着剤などで押さえておくことが安心です。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 材齧の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿 支店 ☎ 06-6455-9608
東北 支店 ☎ 022-232-6711 中 国 支店 ☎ 082-281-2180
関 東 支店 ☎ 03-5479-3614 四 国 支店 ☎ 0877-56-2346
北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九 州 支店 ☎ 092-751-9861
中 部 支店 ☎ 052-461-1960

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright 2025 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-D132

SS250910T
2025年9月現在